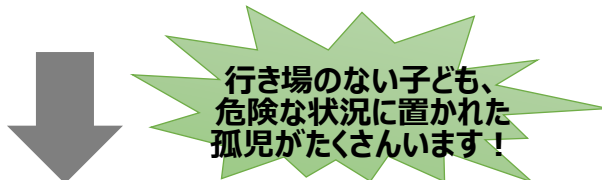


ウガンダの**孤児の保護**にご協力ください



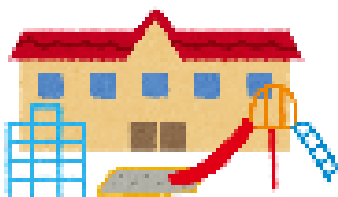
ウガンダでは、捨てられてしまう孤児がたくさんいます。

- ・エイズやマラリアなどで両親を亡くした子ども
- ・貧困で育児放棄された子ども
- ・性犯罪により精神疾患を患った親から生まれた子ども
- ・売春で生計を立てており、父親が分からずに捨てられる乳児



このような子どもを保護する

「**希望の家**」プロジェクト



私たちは、現地パートナーの SORAK と共に
行き場のない子ども、危険な状況に置かれた孤児
を保護し、安全に生育できる環境を整えるために、
孤児施設「希望の家」を建設します。



「希望の家」は、

- ① 子どもたちの**受け入れ家族が見つかるまで**一時的な**預かり所**として子どもたちを**保護**します。
- ② 子どもたちは安全な環境で**養育**し、**教育**を受けるの機会を提供します。
- ③ 孤児の生まれる原因の1つである、**貧困にて子育てするのが困難な女性**と共に食品加工や手工芸品の生産の**職業訓練**をかねた**収入創出活動**も実施します。



安全な生育環境の整備が、子どもたちの将来につながります！

会員として、あるいは**ご寄附**でご支援のほど、お願いいたします。

【ゆうちょ銀行】

- 口座番号：3801889 店番：098
- 口座名義：特定非営利活動法人 Global Bridge Network

【クレジット】でのお支払い：<https://syncable.biz/associate/Globalbridgenetwork/donate/>

寄附サイトはこちら

↓
Syncable

会員のお申込み
はこちら
↓
会員申込

■ 孤児の3事例



■ ホテル脇に捨てられていた生後 1 か月の乳児

発見したシングルマザーが、一時的な親権を取得し、スラム居住区に 1 部屋を借りて生活しているが、児童労働を目的として誘拐されてしまうことを恐れ、保護を求めている。



■ 精神障害を抱える女性から保護された女の子

精神障害を抱える母親は 3 歳半の娘の世話ができない。そのため村のケアワーカーが預かっているものの、経済的な理由から教育を受けさせることができない。



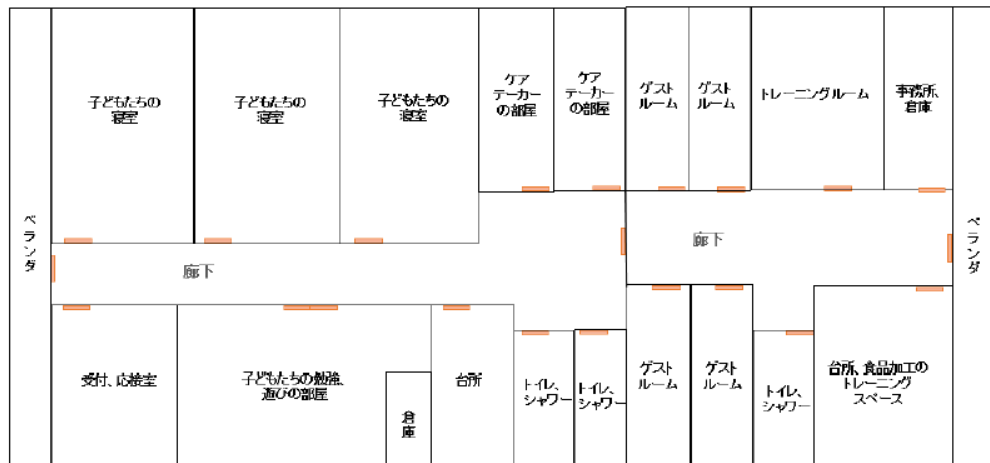
■ 森の中に捨てられていた男の子

森に置き去りにされた 3 歳の男の子は、小さな家に 10 人以上の家族がいる村長の家にひとまず預かってもらっている。他に引き取って養育してくれる家族を探している。

◆「希望の家」の詳しい提案書はこちらを[クリック](#) ↓ ↓ ください。

「希望の家」プロジェクト

■ 設計図案



■ 建設用地

